

令和3年度（第2回）インターネット市民意識調査 結果報告

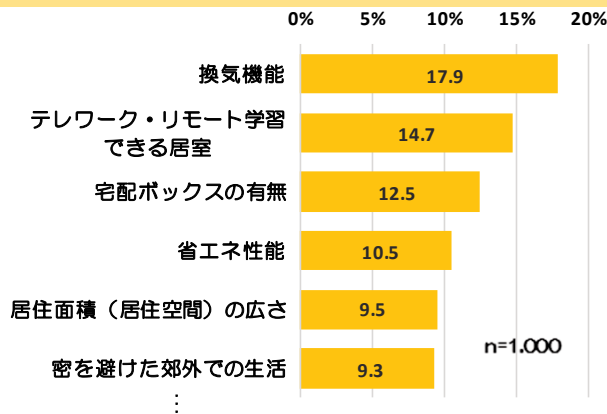
1 調査概要

調査地域：さいたま市
調査対象：さいたま市在住の18～69歳の男女
18歳から69歳までの5年代層において、各年代の男女各100サンプル、合計1,000サンプルに回答を得た。
調査方法：インターネット調査（調査会社の登録モニターによるWEB調査）
実施時期：令和3年8月6日（金）～8月11日（水）
調査項目：「新型コロナウイルス感染症や新しい生活様式を踏まえた、今後の住まい方」
「中古住宅」「キャッシュレス決済」「アーバンスポーツ」
「さいたま市出前講座」「さいたま市消費生活センターの認知度」

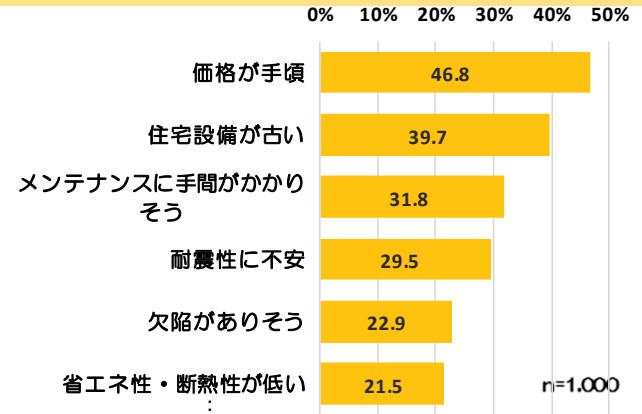
概要版

2 主な調査結果

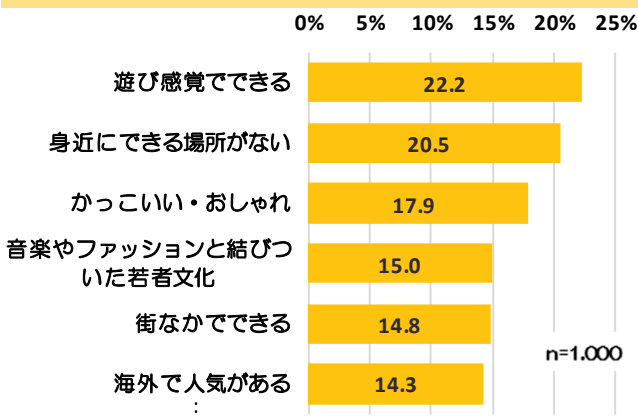
★コロナ禍以降、住まいについて重要視するようになったこと。（報告書P.9、複数回答）



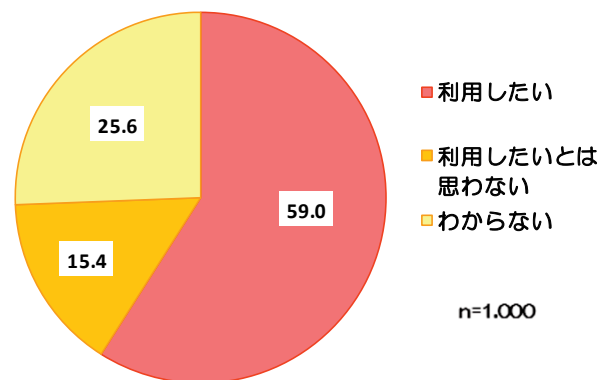
★中古住宅のイメージは。（報告書P.11、複数回答）



★アーバンスポーツのイメージは。（報告書P.20、複数回答）



★手数料等の支払いに、キャッシュレス決済を利用したいと思うか。（報告書P.16）



★「さいたま市出前講座」に参加したいと思う人は、全体の33%。（報告書P.27）

★「消費生活センター」の認知率は、全体の28%。（報告書P.29）

詳しくは、市ホームページで、報告書本編をご覧ください。
<https://www.city.saitama.jp/006/002/004/p017090.html>
トップページ>市政情報>広聴・市民参加・アンケート>市民アンケート

R3.9月
さいたま市市長公室
広聴課企画係